

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年2月23日(2006.2.23)

【公開番号】特開2000-248088(P2000-248088A)

【公開日】平成12年9月12日(2000.9.12)

【出願番号】特願平11-55481

【国際特許分類】

C 08 J	5/22	(2006.01)
B 01 D	69/06	(2006.01)
B 01 D	71/26	(2006.01)
B 29 C	67/20	(2006.01)
C 08 J	5/18	(2006.01)
C 08 J	9/00	(2006.01)
C 08 J	9/28	(2006.01)
H 01 M	2/16	(2006.01)
B 29 K	23/00	(2006.01)
B 29 K	105/04	(2006.01)
B 29 L	7/00	(2006.01)

【F I】

C 08 J	5/22	C E S
B 01 D	69/06	
B 01 D	71/26	
B 29 C	67/20	B
C 08 J	5/18	C E S
C 08 J	9/00	C E S A
C 08 J	9/28	C E S
H 01 M	2/16	P
B 29 K	23:00	
B 29 K	105:04	
B 29 L	7:00	

【手続補正書】

【提出日】平成17年12月27日(2005.12.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】重量平均分子量が50万以上の超高分子量ポリオレフィン(A)又は重量平均分子量50万以上の超高分子量ポリオレフィンを含む組成物(B)からなるポリオレフィン微多孔膜であって、透気度が1000~2000sec/100cc、バブルポイント値が10kg/cm<sup>2</sup>以上であることを特徴とするポリオレフィン微多孔膜。

【請求項2】突刺強度が500g/25μm以上であることを特徴とする請求項1記載のポリオレフィン微多孔膜。

【請求項3】引張強度が1000kg/cm<sup>2</sup>以上であることを特徴とする請求項1又は2記載のポリオレフィン微多孔膜。

【請求項4】空孔率が25~35%であることを特徴とする請求項1ないし3いずれかに記載のポリオレフィン微多孔膜。

【請求項 5】 熱収縮率が 5 % 以下であることを特徴とする請求項 1 ないし 4 いずれかに記載のポリオレフィン微多孔膜。

【請求項 6】 請求項 1 ないし 5 いずれかに記載のポリオレフィン微多孔膜を用いた電池セパレータ。

【請求項 7】 請求項 1 ないし 5 いずれかに記載のポリオレフィン微多孔膜を電池セパレータとして用いた電池。

【請求項 8】 請求項 1 ないし 5 いずれかに記載のポリオレフィン微多孔膜を用いたフィルター。

【請求項 9】 重量平均分子量 50 万以上の超高分子量ポリオレフィン (A) 又は重量平均分子量 50 万以上の超高分子量ポリオレフィンを含む組成物 (B) 5 ~ 35 重量 % と溶剤 95 ~ 65 重量 % からなる溶液から、溶融押し出しによりゲル状物を得、当該ゲル状物を 3 × 3 倍以上に延伸し、しかる後に溶剤を除去し、乾燥後、熱セットを行うことを特徴とするポリオレフィン微多孔膜の製造方法において、溶剤除去後における熱セット温度を 122 ~ 130 とすることを特徴とする請求項 1 ないし 5 いずれかに記載のポリオレフィン微多孔膜の製造方法。